

- 男鹿市では、森林環境譲与税を活用し、これまで様々な課題により手入れできなかった森林整備・意向調査・境界画定、さらに森林整備を担う人材育成や担い手の確保等の取り組みを推進する。
- 令和4年度は、森林作業道の整備を1,306m実施し、間伐等の森林整備促進を図った。

□ 事業内容

森林作業道整備

- ・ 男鹿市内の木材の集材・搬出に支障をきたしている森林作業道を拡幅改良し、搬出作業等の効率化により、間伐等の森林整備促進を図る。

【事業費】 4,477千円（うち譲与税4,477千円）

【実績】 拡幅改良 L = 1,306m

□ 取組の背景

- ・ 道路幅員が狭隘で手入れが行き届いていないことから、森林の管理や搬出作業に支障をきたし、間伐材の有効活用が図られていない状況。

□ 取組の効果

- ・ 整備により、利便性が向上した結果、管理作業等の効率化が図られ、今後の搬出間伐等の森林整備に大きく寄与する。

□ 整備状況

（整備前）



（整備後）



（整備前）



（整備後）



◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：25,454千円	②私有林人工林面積（※1）：5,532ha	
③林野率（※1）：51.7%	④人口（※2）：25,154人	⑤林業就業者数（※2）：38人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より